

食の活動と他職種連携をテーマとした

口腔ケア研究会 (TABERU2013)

第1部 9:30～12:00

厚労科研 食の加齢症候群(サルコペニアと口腔)

座長:大石善也

- ①飯島勝矢医師 東京大学高齢社会総合研究機構 准教授
仮:「食の加齢症候群」の概念及び国民運動論への展開
 - ②高橋賢晃歯科医師 日本歯科大学口腔リハビリテーション科 講師
仮:「食の加齢症候群」大規模調査(2044名)の歯科データ解析
 - ③小原由紀歯科衛生士 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科歯科 医療行動科学分野
仮:「食の加齢症候群」の歯科データから見えるもの
 - ④河合 恒 研究員 東京都健康長寿医療センター研究所 高齢者健康増進事業支援室
仮:「地域在住高齢者における筋肉量・運動機能・口腔機能の関係
—大規模包括的健診の結果から—」
 - ⑤椎名一博 (株)三井不動産 S&E 総合研究所上席研究員
仮:柏の葉キャンパス駅における健康未来都市構想(特別区域)
- ※活動のご紹介
- ・HIP(Healthcare Innovation Project) 東京大学 産学連携(未定)
仮:企業からみた「食の加齢症候群」の国民運動論への展開
 - ・メディカルラーニングバー 山口高秀先医師
仮:医療・介護・その他の従事者同士の価値共創の種

第2部 13:00～15:00

医科歯科連携(歯科衛生士の自立的活動の推進)

座長:大石善也

- ⑥川越正平医師 医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所 院長
仮:在宅患者にどんな歯科介入が求められるのか～歯科医師や歯科衛生士への期待～
- ⑦山口朱見歯科衛生士 医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所
あおぞら診療所における医科歯科連携
- ⑧和田和江歯科衛生士 大石歯科(ジョイント看護師未定)
仮:訪問看護ステーションにおける口腔ケア活動
- ⑨安田淑子管理栄養士 ふれあい歯科ごとう
仮:管理栄養士の歯科医院における活動
地域で取り組む食支援 ～ハッピーリーブスの活動～

第3部 15:00～16:30
同職種連携(口腔ケアセンターの立上げ方)
座長:太田博見・露木隆之

⑩渡邊由紀子歯科衛生士 元気なお口研究まほろば
仮:まほろばの活動で見えてきたこと、これからの展望

⑪諸井英二歯科医師 和光会理事長
仮:経営的視点からみた同職種連携

<要旨>

第1部は、食の重要性を簡便な個人計測(自助)から広く国民運動に普及させる「食の加齢症候群」についての研究発表と今後の展開について市民・多職種を含めた研究集会を催す。
また、ホール外では「口腔ケアのはじめの一步:DVD」や「東日本震災の被災地における現在の多職種支援活動」などポスターセッションを企画。

第2部では、歯科医院・在宅療養支援診療所・訪問看護ステーションで活動している歯科衛生士や管理栄養士の活動をもとに、どのように多職種連携をとれば良いかについて議論する。

第3部では15年間以上、複数の歯科衛生士グループが歯科医師と連携して地域の食支援を行なっている同職種連携について報告する。

以上の研究集会より、熱心な歯科グループがどのようなシステムで多職種連携を具現化していけばよいのか、その連携ツール(成果物)を開発し、全国に「口腔ケアの種」をまきたいと考えている。

勇美財団 申請者:大石善也

日 時:2013年7月28(日) 10:00～17:00
場 所:日本歯科大学 富士見ホール 8F
主 催:(社)全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会
共 催:公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
問い合わせ:(社)在宅歯科医療・口腔ケア連絡会 柏事務局 伊藤まゆみ
T E L:04-7176-3355 大石歯科医院内
メー ル:kouku-care-renrakukai@jcom.home.ne.jp
入場無料・事前申込不要・一般・介護職・多職種・医師・その他

■会場のご案内

日本歯科大学 生命歯学部 富士見ホール
〒102-8159 東京都千代田区富士見 1-9-20
JR・地下鉄有楽町線・東西線
飯田橋駅下車 徒歩5分
地下鉄半蔵門線・東西線・都営新宿線
九段下駅下車 徒歩5分

